

シラバス (H28年度 介護職員初任者研修)

項目名	1 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人に生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるよう指導します。			
日時※	平成29年10月14日(土)			
講師	斉藤則子			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
1(1)多様なサービスの理解	3	3	0	講義及び演習:介護保険や保険外サービスについて講義を行い、事例(保険給付におけるサービスの種類等)に基づきグループで検討し、発表する。
1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	0	講義のみ。
合計時間数	6	6	0	
使用する機材備品等	視聴覚教材(DVD等)			

項目名	2 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解できるよう指導します。			
日時※	平成29年10月19日(木)			
講師	2(1)斉藤 則子、2(2)久松 由佳			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
2(1)人権と尊厳を支える介護	5	1.5	3.5	通信講習、講義及び演習:人権と尊厳について講義を行い、「ノーマライゼーションの思想」についてグループで検討し、発表する。
2(2)自立に向けた介護	4	0	4	通信講習のみ
合計時間数	9	1.5	7.5	

項目名	3 介護の基本			
指導目標	・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解できるよう指導する。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができるよう指導します。			
日時※	平成29年11月26日(日)			
講師	3(1)(2)(3)佐賀 唯衣子、3(4)久松 由佳			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
3(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	通信講習、講義及び演習:事例に基づき、介護に関わる専門職、他職種との連携、チームケアについて介護相関図を作り、グループで検討し、発表する。
3(2)介護職の職業倫理	1	1	0	講義のみ
3(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	通信講習及び講義
3(4)介護職の安全	1	0	1	通信講習のみ
合計時間数	6	3	3	

項目名	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できるよう指導します。			
日時※	平成29年11月16日(木)			
講師	4(1)(2)齊藤 則子、4(3)小林 豊			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
4(1)介護保険制度	5	1.5	3.5	通信講習、講義及び演習:介護保険の申請から利用までの一連の流れをグループでフローチャートとして作成する。
4(2)障害者総合支援制度及びその他制度	2	0	2	通信講習のみ
4(3)医療との連携とリハビリテーション	2	0	2	通信講習のみ
合計時間数	9	1.5	7.5	

項目名	5 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限取るべき(取るべきでない)行動例を理解できるよう指導します。			
日時※	平成29年10月28日(土)			
講師	5(1)久松 由佳5(2)飯田 朗智b			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
5(1)介護におけるコミュニケーション	3	0	3	通信講習のみ
5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	3	3	0	講義及び演習:事例に基づきグループで介護記録の記載方法を体験する。
合計時間数	6	3	3	

項目名	6 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるよう指導します。			
日時※	平成29年10月28日(土)			
講師	6(1)前田 美鈴、6(2)高木 徳子			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
6(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	3		講義及び演習:例題テーマを設定しそのテーマに基づいてグループで話し合い、発表する。
6(2)高齢者と健康	3		3	通信講習
合計時間数	6	3	3	

項目名	7 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解できるよう指導します。			
日時※	平成29年11月26日(日)			
講師	7(1)(3)飯田 朗智、7(2)高木 徳子、7(4)木部 かよ子			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
7(1)認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	講義及び演習:事例に基づいて、認知症の利用者の気持ちをグループで考え発表する。
7(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1	0	1	通信講習のみ
7(3)認知症に伴うところからだの変化と日常生活	3	1.5	1.5	通信講習及び講義
7(4)家族への支援	1	1	0	講義のみ
合計時間数	6	3	3	

項目名	8 障害の理解			
指導目標	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し介護における基本的な考え方について理解できるよう指導します。			
日時※	平成29年11月16日(木)			
講師	8(1)(2)藤野 けい子、8(3)久松 由佳			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
8(1)障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	通信講習及び講義
8(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1	0	講義のみ
8(3)家族の心理、かかわり支援の理解	1	0	1	通信講習のみ
合計時間数	3	1.5	1.5	

項目名	9 ところからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できるよう指導します。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるよう指導します。 			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
ア 基本知識の学習				ア 基本知識の学習
9(1)介護の基本的な考え方	2	0	2	通信講習のみ
9(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解	4	0	4	通信講習のみ
9(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	4	0	講義及び演習:人体の構造やからだのしくみについて講義を行い、ボディメカニクスについて実技演習する。

シラバス (H28年度 介護職員初任者研修)

イ 生活支援技術の講義・演習				イ 生活支援技術の講義・演習
9(4)生活と家事	2	0	2	通信講習のみ
9(5)快適な居住環境整備と介護	2	0	2	通信講習のみ
9(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	講義及び演習:更衣、整容の介助方法の基本について講義を行い、事例に基づいて更衣、整容の介助方法を実技演習する。
9(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	講義及び演習:移動・移乗の介助方法の基本について講義を行い、事例に基づいて移動・移乗の介助方法を実技演習する。
9(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	講義及び演習:食事の介助方法の基本について講義を行い、事例に基づいて食事の介助方法を実技演習をする。
9(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	講義及び演習:入浴・清潔保持の介助方法の基本について講義を行い、事例に基づいて入浴・清潔保持の介助方法を実技演習する。
9(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	講義及び演習:排せつの介助方法の基本について講義を行い、事例に基づいて排泄の介助方法を実技演習する。
9(11)睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	2	1	通信講習・講義及び演習:睡眠や体位変換の意味や環境整備の方法について講義を行い、ベッドメイキングや体位変換の介助方法を実技演習する。
9(12)死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	2	1	1	通信講習及び講義
ウ 生活支援技術演習				ウ 生活支援技術演習
(13)介護過程の基礎的理解	5	5	0	講義及び演習:介護過程の目的、意義、留意点について講義を行い、事例に基づき個別援助計画の作成演習にて生活全般の支援方法についてグループで討議し、発表する。
(14)総合生活支援技術演習①、②	5	5	0	講義及び演習:(13)の事例の意義や留意点についてグループで討議をし、実技演習する。
(実習)				(実習)
ホームヘルプサービス同行訪問	12	12	0	ヘルパーに同行して現場の雰囲気を経験する。
合計時間数	75	63	12	
使用する機材備品等	視聴覚教材(DVD等)、ベット、車椅子、浴槽、福祉用具、介護用品			

科目名	日時※	講師
9(1)、(2)	通信講習	相原 賢治
9(3)、(11)	平成29年10月21日	飯田 朗智、田中 久美子、木部 かよ子
9(4)、(5)	通信講習	相原 賢治
9(6)	平成29年11月4日	笹崎 裕子、相原 賢治、木部 かよ子
9(7)	平成29年11月11日	谷田貝 真美、小泉 美江、諸岡 真起子
9(8)	平成29年12月2日	勝又 智恵、八柳 久子、佐藤 陽子
9(9)	平成29年11月18日	飯田 朗智、柴田 智美、木部 かよ子
9(10)	平成29年12月9日	田中 久美子、大谷 百恵、木部 かよ子
9(12)	平成29年10月21日	前田 美鈴(通信講習及び講義)
9(13)	平成29年12月17日	前田 美鈴、新居 尚江、高安 富美代
9(14)①	平成29年12月23日	前田 美鈴、新居 尚江、高安 富美代

項目名	10 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を図るよう指導します。			
日時※	平成30年1月13日(土)			
講師	田中 久美子			
科目名	時間数	通学	添削	実施内容
(1)振り返り	2	2	0	講義及び演習:研修や実習を通して学んだことをグループで意見交換し、介護職員初任者研修の受講過程を振り返り、根拠に基づく介護についての要点をグループでまとめる。
(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2	2	0	講義のみ
合計時間数	4	4	0	
総時間数	130	89.5	40.5	

※研修時間は、研修日程表を確認してください。